

商みやこ

2012.1月

宮古商工会議所会報 Vol.410



市民新年交賀会 復活した「千両男山」で鏡開き (1月4日)

—主な記事—

花坂会頭 年頭のごあいさつ.....	2
日商 岡村会頭 年頭所感.....	3
宮古商工会議所・川井村商工会合併に向けての取組み.....	4
環境衛生業部会研修会.....	6
会員事業所紹介.....	6
みやこの主な統計.....	7

発行所/宮古商工会議所
〒027-0074 宮古市保久田7番25号
TEL 62-3233・FAX 63-6131
E-mail: miyacci@eins.mac.ne.jp
○田老支所 宮古市田老字鶴が森129-2(3F)
○新里支所 宮古市茂市3-159-1
毎月15日発行 1部50円

Information

主な行事予定

- 《1月》
17日(火) 常議員会、臨時議員総会(宮古商工会館)
18日(水) 新春セミナー(宮古ホテル沢田屋)
19日(木) 女性会 親睦会(山口公民館)
30日(月) 宮古地区税務関係団体協議会1月例会(宮古ホテル沢田屋)
- 《2月》
2日(木) 宮古商工会議所・川井村商工会
合併調印式(宮古地区合同庁舎)
7日(火) 無料法律相談会(宮古商工会館)

◎新入会員紹介

事業所名	所在地	業種	所属部会
野がみゆき園ミドリカキ	田老字川向 85	乳製品卸、販売	商業部会

はまなす共済加入事業所の皆様方へ

当会議所では、はまなす共済加入事業所の皆様に対し、迅速に共済金をお届けできるよう取り組んでおります。

平成22年度(平成22年11月~平成23年10月)の状況	
お支払い件数	お支払い金額
23件	69,888千円

なお、平成22年度の収支決算を行った結果、はまなす共済に剰余金は生じませんでしたので、本年の配当はありません。将来の不測の事態に備えて、はまなす共済の新規加入、増口をご検討願います。

宮古・下閉伊地区 就職面接会

2月9日(木) 13:30~16:00
受付開始13:00

宮古市民総合体育館 シーアリーナ
【宮古市小山田2-1-1】

対象 一般求職者の方

お問い合わせ先

- ハローワーク宮古(宮古公共職業安定所) ☎0193-63-6609
- 岩手県沿岸広域振興局宮古地域振興センター ☎0193-64-2211
- 宮古市産業振興部産業支援センター ☎0193-68-9092
- ジョブカフェみやこ ☎0193-64-3513

平成24年 経済センサス活動調査への ご協力をお願い

総務省、経済産業省、岩手県及び宮古市では、2月に全国すべての事業所・企業を対象とした「平成24年経済センサス活動調査」を実施します。

調査票は1月末日までにお届けします。2月1日以降に提出をお願いします。

平成24年度 事業計画策定に関する 部会開催日時のお知らせ

新年度の事業計画策定に向けて、当会議所では各部会を下記のとおり開催いたします。会員の皆様には、是非ご出席の上、ご意見をお聞かせ下さいませようご案内申し上げます。

(部会名は、本誌封筒表面に記載してありますので、ご確認ください)

部会名	開催日時	開催場所
交通観光部会	2月3日(金) 午前10時 午後1時30分	宮古商工会館
建設技術部会		
環境衛生業部会	2月6日(月) 午前10時	宮古商工会館
工業部会	午前10時30分	
庶業部会	2月7日(火) 午後1時30分 午後3時30分	宮古商工会館
水産業部会		
建設部会	2月8日(水) 午前10時30分 午後1時30分	宮古商工会館
商業部会		

◆金融定例相談日 ご案内◆

日本政策金融公庫盛岡支店

【国民生活事業】
(旧国民生活金融公庫盛岡支店)

1月19日(木) 午後1時~

金利 普通貸付 2.15%
マルゲイ資金 1.85%

※平成23年12月12日現在

相談をご希望の方は前もってお申し込み下さい。(☎62-3233)
定例相談日の他に随時経営指導員・経営相談員が相談に応じています。
お気軽にお電話下さい。

編集後記

会報担当になり、多くの事業主の方々とお会いする機会を頂きました。私にとってそれは勉強であり、一言一言が心に響くものでした。今年もたくさんの方々に会います。その事を楽しみにしています。

新年おめでとうございます。宮古の地酒「男山」が復活し、新年交賀会で振舞われました。大変うれしい再開でした。これを復興元年の景気づけとして、今年一年復興、復活に向け共に歩んでまいりましょう。

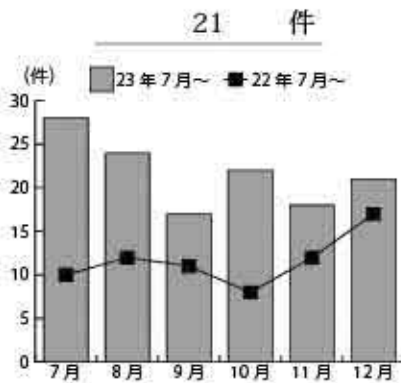
みやこの 主な統計 〈12月〉

平成24年1月1日現在
人口 **58,836人**
男 28,158人：女 30,678人
世帯数 24,097
一世帯当たり 2.4人

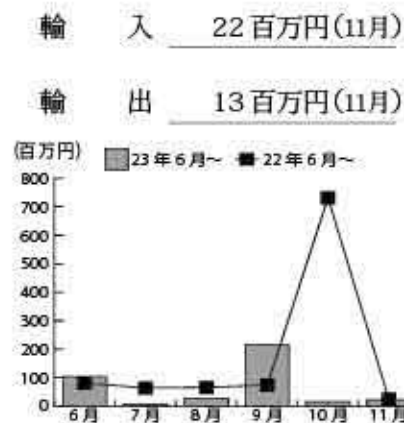
手形交換所

23年	22年
手形交換枚数 740 枚	944 枚
手形交換高 827 百万円	618 百万円
不渡発行枚数 0 枚	0 枚
不渡発行高 0 千円	0 千円

建築確認申請



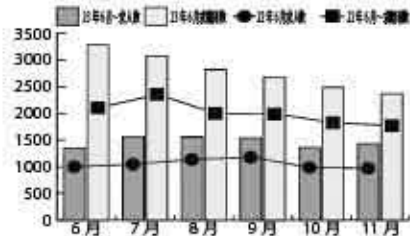
宮古港外国貿易高



求人・求職者数

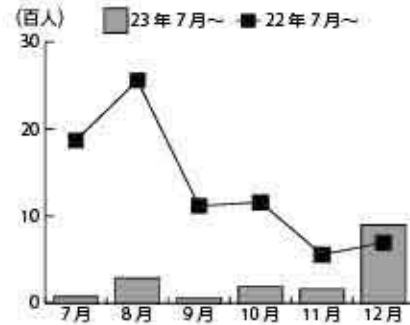
求人数 1,427人(11月)

求職者数 2,369人(11月)



観光船乗客数

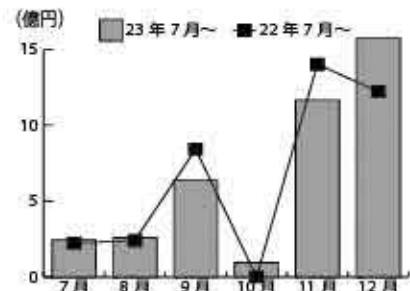
897 人



宮古魚市場水揚高

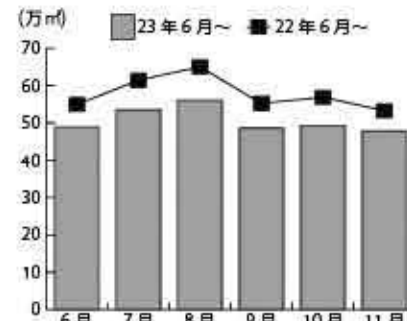
量 4,471 t

金額 1,574,605 千円



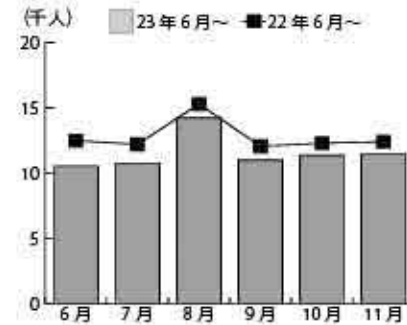
水道使用料

478,033m³(11月)



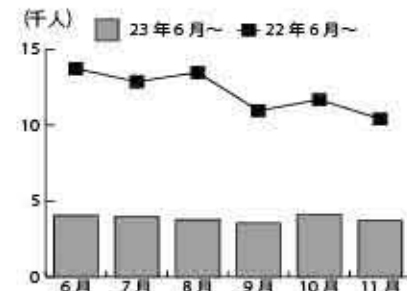
106 急行バス

11,471人(11月)



三鉄乗客数

3,709人(11月)



年頭の「あいさつ」

宮古商工会議所 会頭 花坂 康太郎

年あらたまり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

本年は辰年であり、龍が水一面の深い淵から昇り立つように東日本大震災からの本格的な復興に向け、大きく前進する一年となることを祈念いたします。

昨年3月11日に発生した東日本大震災は、多くの命と貴重な財産を奪い去りました。ここに改めて亡くなられました方々のご冥福をお祈りいたします。

また、この大震災は、宮古市の基幹産業である水産業はもとより、商業、工業、観光業など多岐にわたる産業に多大なる損害をもたらした。余りの被害の大きさにただただ啞然とするばかりでした。

しかし、復旧、復興への取組みが遅れば遅れるほど、疲弊する事業所が多くなることから、当会議所は「負けないぞ！宮古」をスローガンに、岩手県、宮古市、各業界の方々と連携を取りながら、復旧、復興に向けた取り組みを行いました。

災害復旧にしましては、市内

建設6団体様に呼びかけまして、宮古地区災害復旧対策連絡協議会を立ち上げ、迅速な復旧体制を整えることが出来、これにより市内の瓦礫撤去、道路、水道といったインフラの復旧はいち早く行われました。ご協力いただきました皆様方には、深く感謝の意を表します。

また、被災後いち早くヒアリングに来てくれた中小企業庁では、第一次補正に「仮設店舗・工場等の支援」を打ち出していた。さまざまな支援を受け、9月25日、田老地区に「たろちゃんハウス」をオープンさせる事が出来ました。

更に宮古市の補助を受けて3月より行う予定だったプレミアム商品券事業も被災により中断しましたが、復興を祈念し、商業振興と被災者支援の観点から実施を決定し、第1弾として9月より1億1千万円を発行し、半月で完売、第2弾として12月に更に1億1千万円を発行し、一週間で完売するな

ど一定の成果をあげることができたものと考えております。

12月2日には遊休機械無償マッチング支援プロジェクトを行いました。このプロジェクトは全国商工会議所のネットワークを活用し、遊休機械等を全国各地の事業所から無償提供していただき、被災事業者の要望とマッチングを行い、機械等の無償提供を行うものです。岩手県第1号となりました今回は、7事業所に対し28種類の機械等が譲渡されました。

今後も、ニーズを把握しながら継続してまいります。

また、長年要望してまいりました三陸縦貫自動車道は復興道路として、盛岡宮古横断道は復興支援道路として整備着手されました。安心安全な命の道路として訴えてきただけに、大震災を経験した結果が整備促進につながるといふ喜ばない部分もありますが、これにより産業界には刺激が生まれ、新たな産業が育っていくものと期待しております。

震災より10ヶ月が経過した現在、当会議所の被災事業所800社の内、約700社、85%が営業を再開いたしました。本格的な復興には遠く及びませんが、私ども経済界といたしましては、

何としても早急に地域経済を立て直すことが今年一年に課せられた責務と捉えております。

震災により地域は大きく変化します。その潮流変化に的確に対応し、地域経済の生き残りを懸けてイノベーションに取り組み、復旧型の復興ではなく、創造的な復興を目指します。

地域経済の振興には「経済の地域内循環」と「基幹産業の戦略的強化」が2つの大きな柱と考えております。

経済の地域内循環においては土木・建設業の強化を、また基幹産業の戦略的強化については水産イノベーション、観光イノベーション、エネルギーイノベーションの3つを掲げ、皆様方のご協力を頂きながら地域経済の復興を推進し市民生活の安定を図ってまいります。

結びに、この新しい1年が、幸多き年となることを祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

(1月4日市民新年交歓会あいさつより)



環境衛生業部会

部会・研修会を開催

去る12月19日に当所3階大会議室に於いて環境衛生業部会を開催致しました。

部会では、平成23年度事業について、現時点での事業実施状況の報告と今後の事業について協議致しました。協議内容は次のとおりです。

今後の事業として「宮古食材を利用した料理メニューの研究と情報発信について」は、今年度は、宮古・ものづくりネットワーク水産部会と共催で事業に取り組む他、宮古湾ニシンを活用した事業の方向性について話し合いました。

部会終了後、「感染症の予防について」をテーマに研修会を開催、18名が出席致しました。

この研修会は部会員事業所が感染症に関する理解を深め、部会員事業所の営業活動に活かして頂く為に開催したものです。

研修会講師には、宮古保健所保健師の笹島尚子氏にお願いをし、インフルエンザウイルス、腸管出血性大腸菌、ノロウイルス等の予防方法等についてお話しをいただきました。

青年部

澄みわたるイルミネーション

当所青年部（伊藤勝博会長）では昨年に引き続き、宮古市地域創造基金を活用した「冬のイルミネーション」事業を12月23日から1月31日まで実施しています。

昨年まで、シートピアなあと付近で行われていたこの事業は、新たに宮古市役所前歩道橋に設置場所を移しました。

シートピアなあとなどの倉庫に保管させていたイルミネーションは、全て津波で使えなくなりましたが、一時は実施も危ぶまれましたが、創造基金の活用や、県内外からの青年部の支援も頂き、今年度も実施できることとなりました。

伊藤会長は、「少しでも復興をアピールしよう」と、青年部会員に呼びかけ、飾りつけを行いました。

期間中、午後5時から午後10時まで、約2万球のイルミネーションの澄んだ美しい光が往来する方々を喜ばせています。



総力を結集し震災からの復興と日本経済再生を

日本商工会議所 会頭 岡村 正

平成24年の新春にあたり、謹んでごあいさつを申し上げます。本年が東日本大震災からの本格的な復興と日本経済再生に向けて、力強く前進する一年であることを心から祈念いたします。

全力を挙げて震災からの復興を

昨年、わが国は未曾有の大災害に見舞われました。震災から約10カ月を経て、被災地の環境は徐々に改善されつつありますが、復興は緒に就いたばかりであり、地域経済や雇用を支える中堅・中小企業の業績回復も途上の段階にあります。また福島県では、原発事故によりいまなお深刻な状態が続いています。

商工会議所では、震災直後から各地で支援活動を展開し、昨年10月には被災地の完全復興を目指して514商工会議所が総力を結集することをあらためて誓った「福島アピール」を決議しました。これからの全国的なネットワークを活かし、支援活動に全力を傾注してまいります。

中小企業の活力強化を成長戦略の柱に

国内外の経済環境は予断を許さない状況にあります。欧州では財政問題が金融市場、さらには実体経済に影響を及ぼす負の連鎖が懸念され、米国では緩やかな景気回復が続いているものの、財政問題もあり先行きには不透明感があります。また、世界経済を牽引してきた新興国にも減速感が見られます。国内経済も震災の復興需要により回復基調にあるものの、超円高局面の継続やエネルギーの供給制約、さらにはタイ洪水被害による影響などで企業は苦境に立たされておられ、産業空洞化の進展が強く懸念されています。

わが国が再度立ち上がり持続的な成長路線を歩むには、中小企業や地域経済が活力を取り戻すことが不可欠です。そのためには、成長戦略の柱に中小企業の強化を位置付けることが必要であり、政府に対し強く働き掛けてまいります。

会員事業所をご紹介します

今月は、「南佐々木鉄工所」をご紹介します。



- ◎事業所名
南佐々木鉄工所
- ◎代表者名
代表者 佐々木英則 さん
- ◎住 所
宮古市臨港通 1-7
- ◎TEL/FAX
☎62-6114/☎63-4121
- ◎業 種
鋼構造物工事業

115年続いている鉄工所。会社にとっても社長にとっても毎年12月17日は御神体を祈願する特別な日。けじめを付ける意味で復興祈願祭をこの日に決めた。弱音を吐いてはられない。同業者、全国の皆様からのご支援・励ましに支えられて、ようやくここまで来る事が出来た。震災前にいた従業員も誰一人欠ける事なく、11月には機械も揃い、鎌ヶ崎地区の入り口に活気が戻ってきた。社長は言う「復旧・復興には鉄工所の技術が必要だ」と声を掛けてもらっている。今まで培った鋼構造の技術を駆使し、地元ならびに被災地の復興と社会的貢献を果たしたい。」人と人のつながり、絆・従業員と団結し再出発を誓う。

積極的な国際展開を

グローバル化が加速する中、日本経済成長のためには、アジアとともに成長することが不可欠です。中小企業も積極的な国際展開が重要であり、商工会議所はこれまで以上に国内外の政府関連機関などとの連携を密にしながらサポート態勢を強化してまいります。一方、円高などにより海外移転を余儀なくされ、空洞化が進む状況は何としても防がなければなりません。国際的な立地競争力を高め、国内企業のみならず海外企業からも魅力ある投資環境が整備されるよう取り組んでまいります。

昨年、政府はTPP（環太平洋経済連携協定）交渉への参加を決定しました。今後、TPPなどの経済連携協定締結により中小企業の国際展開を強力に後押しすることが期待されますが、同時に高いレベルの経済連携と両立できる強い農林漁業の実現と、地域経済対策の確実な実行が必要です。交渉では影響を極小化しつつ、守るべきものはしっかりと主張して国益の最大化を図らなければなりません。政府には強い交渉力を発揮できるように万全の態勢で臨むことを求めるとともに、商工会議所としても農工商連携などによる6次産業化や輸出促進、観光振興などを含めた地域活性化に一層取り組んでまいります。

日本再生に向けて 勇気と希望を

東日本大震災は国民生活や日本経済に深い傷跡を残しながらも日本人の行動力、絆の深さをあらためて示すことになりました。これからの国民が絆と連帯の精神で一丸となって、本格的な復興と日本経済再生を果たしていかねばなりません。商工会議所は昨年2020年オリンピック・パラリンピック招致実現に向けて全面的に支援することを表明しましたが、これが国民の心を奮い立たせ夢を持てるような「共通の目標」となることを期待しており、積極的に活動を展開してまいります。

130年を超える商工会議所の長い歴史を振り返れば、創設者・渋沢栄一翁をはじめとする先達は叡智や力を結集し、イノベーションによって幾多の困難を乗り越えてきました。わが国は戦後最大の危機を迎えていると言っても過言ではありませんが、現代を生きる私たちがこの困難に打ち勝つ底力を有していると確信しています。辰年は「動いて伸びる年」とされます。日本商工会議所は、直面する厳しい状況を打開し、持続可能な経済成長を実現するため、各地の商工会議所との連携をこれまで以上に緊密にし、会員企業の皆さまとともに前進していく決意であります。皆さまの一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

